



# 「こんにちは 市長です」

11月10日号

空が高い。東から西から北から南まで雲ひとつなく真っ青。こんな日は久しぶりだ。「歩きだな」家を出る。庭のミカンが黄色くなってきたけど実の数が少ない。去年と違う。隣の庭にも大きなミカンの実が道側に垂れているけど、いやあ、これも少ない。去年は取っても取っても濃い緑の葉の陰に、かくれんぼしているみたいに「まだあるよ！」と隠れていた。実を付けるときの気候が影響していたのだろうか。途中、中央公園の角にお医者さんがある。そこのミカンも心なしか元気がない。柿の木が並んでいるが、赤い実は朝日に美しく映えている。葉が落ちて丸裸になった黒ずんだ木に柿の実が「押しくらまんじゅう」しているのは、これぞ秋である。

先週の金曜日まで雨が続いた。「スポレク祭」ができるか気掛かりだった。メイン会場のサブグラウンド、水が浮いている。土日は天気回復というけど準備はできるのか。開会式はどうなのか。始めてから24回目になる。太田独自のお祭りをつくったが工夫を重ねてきたからこそマンネリ化せず続けられているのだと思う。社会貢献団体がお店を出す。収益金は活動の一助になる。交流都市にお店を出してもらい、そこには市職員になって3年目までの若者たちがお手伝いに入る。前夜祭がダニエルハウスで開かれたが、今年も交流都市同士の「まち自慢」は楽しく盛り上がった。今年の「スポレク祭」には市内6校による高校野球大会を加えた。スバルマラソン、地区対抗綱引き（優勝、宝泉地区）は変わらず人気だった。成功の裏には水浸しのサブグラウンドを朝5時から総出で職員が整備してくれた、隠れたファインプレーであった。

子どもたちが減る、高齢化が進む、そんな中でのまちづくりのキーワードは「交流」だと思う。物産だけではなく人と人との交流は大きい。それにしても稚内市とは18年間の交流が続いている。